

# 環境報告書

## 2010



ふじみ衛生組合

# 目 次

	ページ
私たちの取組	2
<b>第1章 事業概要</b>	
1 施設のあらまし	4
2 私たちの組織	6
<b>第2章 私たちの環境への取組</b>	
1 環境方針	8
2 環境負荷(単年度、推移)	9
3 環境対策	14
4 再資源化処理	15
5 環境負荷を減らす取組	18
6 環境活動	19
7 安全衛生などの取組	20
<b>第3章 コミュニケーション</b>	
1 環境情報の提供	23
2 施設の見学	24
3 社会的活動	25
4 エコセメント	26
5 事業のあゆみ	27
<b>巻末資料</b>	
・ 案内図、問合せ先	29
・ アンケート	30

## 私たちの取組

私たちの生活の中で環境問題が大きなウェイトを占めるようになったのはかなり前からのことですが、地球温暖化が叫ばれはじめてから一段と大きくなったようです。そして地球温暖化の影響は、肌で感じられるほどになってきています。

ふじみ衛生組合では、三鷹市、調布市の市民の皆さんから出された「粗大ごみ、不燃ごみ、有害ごみ、びん・缶、プラスチック、ペットボトル」などを可能な限り資源化し、リサイクルしています。

幸い、三鷹市、調布市とも、市民の皆さんのリサイクル意識が高く、分別収集が徹底されておりますが、この中から更に、機械や手選別によって、アルミ、鉄、真鍮などの金属や、プラスチックなどに分別しています。そして、分別した資源物は、容器包装リサイクル法ルートに加え、金属や携帯電話などは有価物としてリサイクルされています。

ふじみ衛生組合では、これからも引き続き、適正な処理とリサイクル、資源化に取り組んでまいります。

さらに、ふじみ衛生組合では、新たに、平成25年度稼働を目指し、可燃ごみ処理施設の建設に取り組んでおります。新施設についても、発電によるエネルギー回収を効率よく行い、環境への付加を極力少なくしてまいります。

限りある資源を大切にし、足元から行動することの積み重ねを地球規模で取り組めば、それは地球温暖化抑制の面からも、大きな効果となってあらわれるはずです。



平成22年 10月 29日  
ふじみ衛生組合

事務長 浜 三昭

### ■ 報告する期間

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

### ■ 準拠したガイドライン

「一般廃棄物処理施設向け環境報告書ガイドライン 2006年度版」東京都環境局

# 第1章 事業概要



# 1 ふじみ衛生組合施設のあらまし

所 在 調布市深大寺東町7丁目50番地30

敷地面積 26,288.52 m<sup>2</sup>

建築面積 不燃物処理資源化施設 4,749.11 m<sup>2</sup>

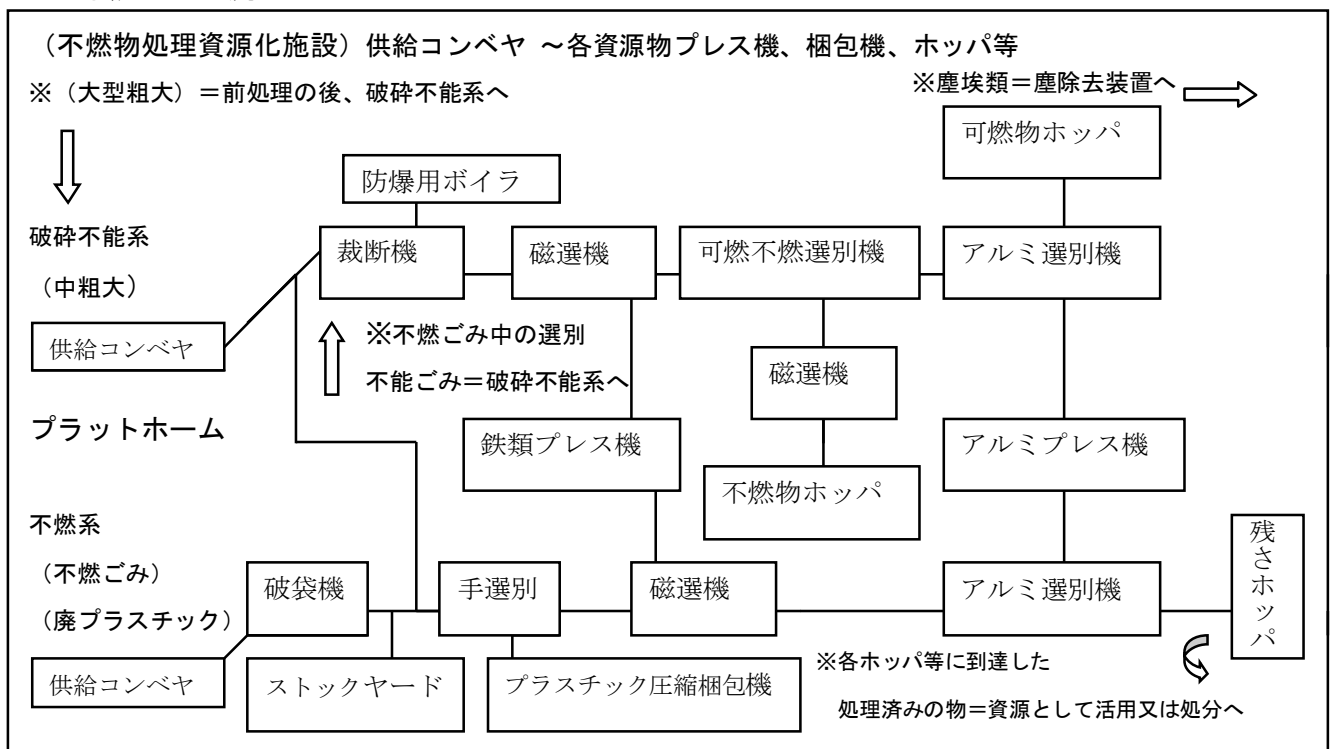
中央棟 3,043.61 m<sup>2</sup> (平成6年12月竣工)

東棟 974.40 m<sup>2</sup>、北棟 731.10 m<sup>2</sup> (平成22年6月竣工)

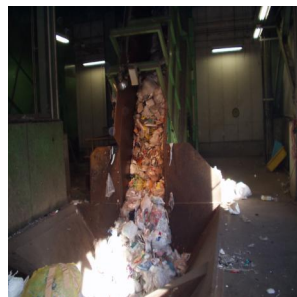
処理能力 不燃物処理資源化施設 87.4 t / 5h

(① 不燃ごみ系 71.0 t / 5h ② 破碎不能系 10.0 t / 5h ③ ペットボトル 4.0 t / 5h ④ びん・缶 2.4 t / 5h)

## 不燃ごみの流れ



プラットフォーム



供給コンベヤ



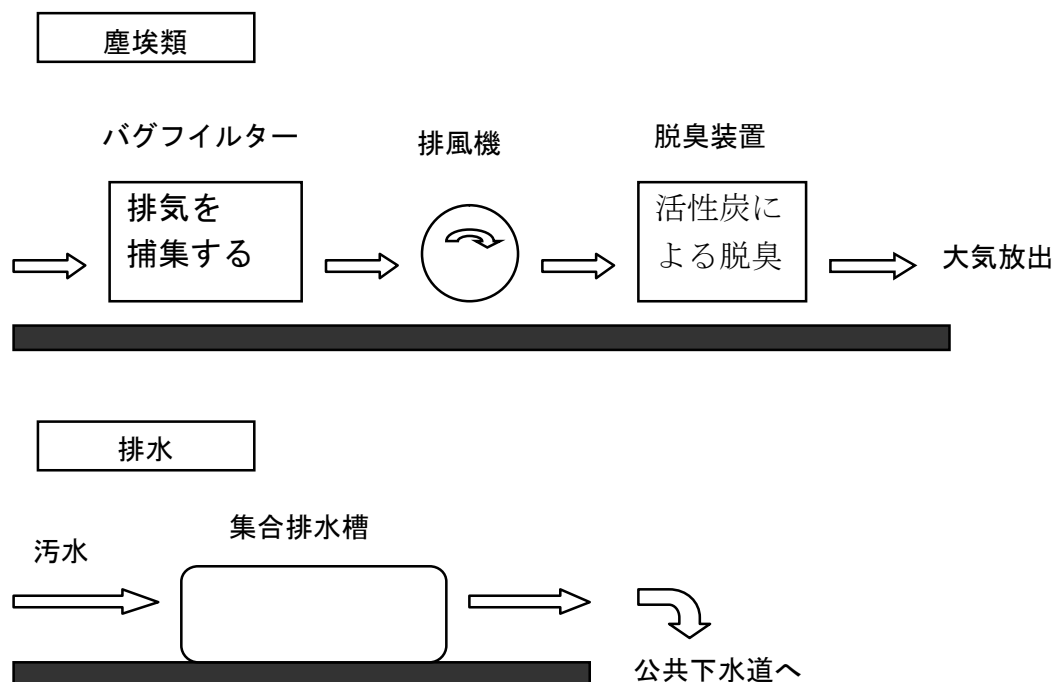
手選別

(注) プラットホーム : 収集車で搬入された不燃ごみ、プラスチック類を受入れます。

供給コンベヤ : プラットホームから各ラインにごみを送ります。

手選別 : 人の手によりごみを種類ごと選別します。

塵除去装置/公害防止設備 他



- (注) 中央制御室 : リサイクルセンター内の各装置は、ここで集中コントロールします。
- プラスチック圧縮梱包機 : 選別されたプラスチックを圧縮し、1梱包約250kg(たて約1m横約1m厚さ1m)に梱包します。
- アルミプレス機 : アルミ選別機で選別されたアルミを約30kg(たて約45cm横約57cm厚さ25cm)のかたまりにプレスします。

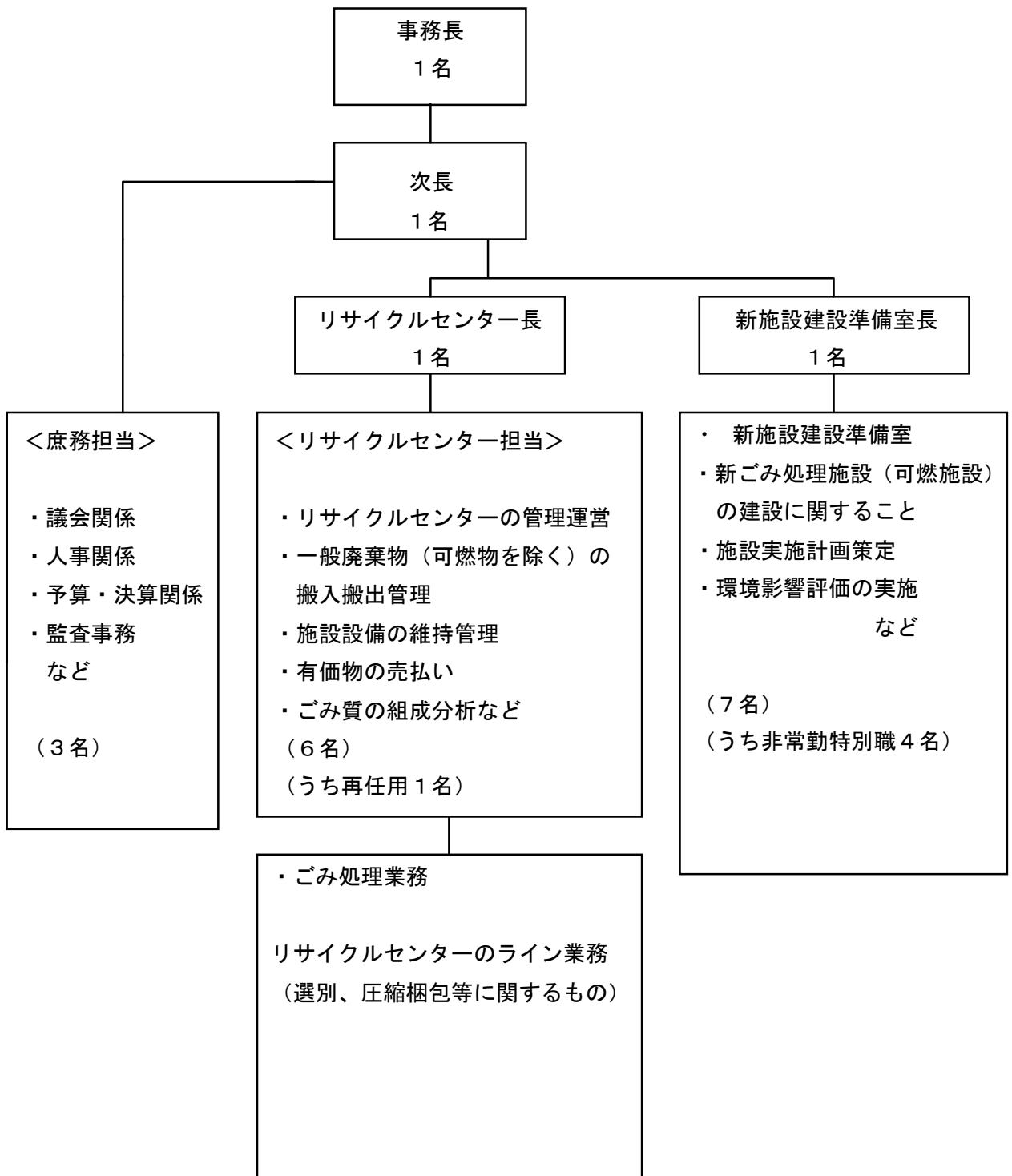
## 2 私たちの組織

事務長は、組織の統括をしています。庶務担当は、組合議会、人事、予算・決算のほか組合内事務などの運営と監査事務を担当します。

ふじみ衛生組合のメインである不燃、粗大ごみの搬入から資源物等の搬出までのリサイクルセンター運営業務については、リサイクルセンター担当及び委託業者2社にあたります。

また、平成18年10月に設置された新施設建設準備室は、平成25年度移動予定の新ごみ処理施設（可燃ごみ処理施設）の建設にあたっています。

<平成22年4月1日現在>



## 第2章 私たちの環境への取組





## 1 環境方針（平成17年9月策定）

### （1）環境に配慮した事業活動

事業活動における環境への影響を念頭に、地域の環境負荷の低減に配慮した適正な維持管理に努めます。

### （2）資源循環型社会システムの核となる清掃工場

搬入されたごみの中から手選別、機械選別等で、より多くの資源物を抽出し、資源の有効利用に努めます。

### （3）地球温暖化防止

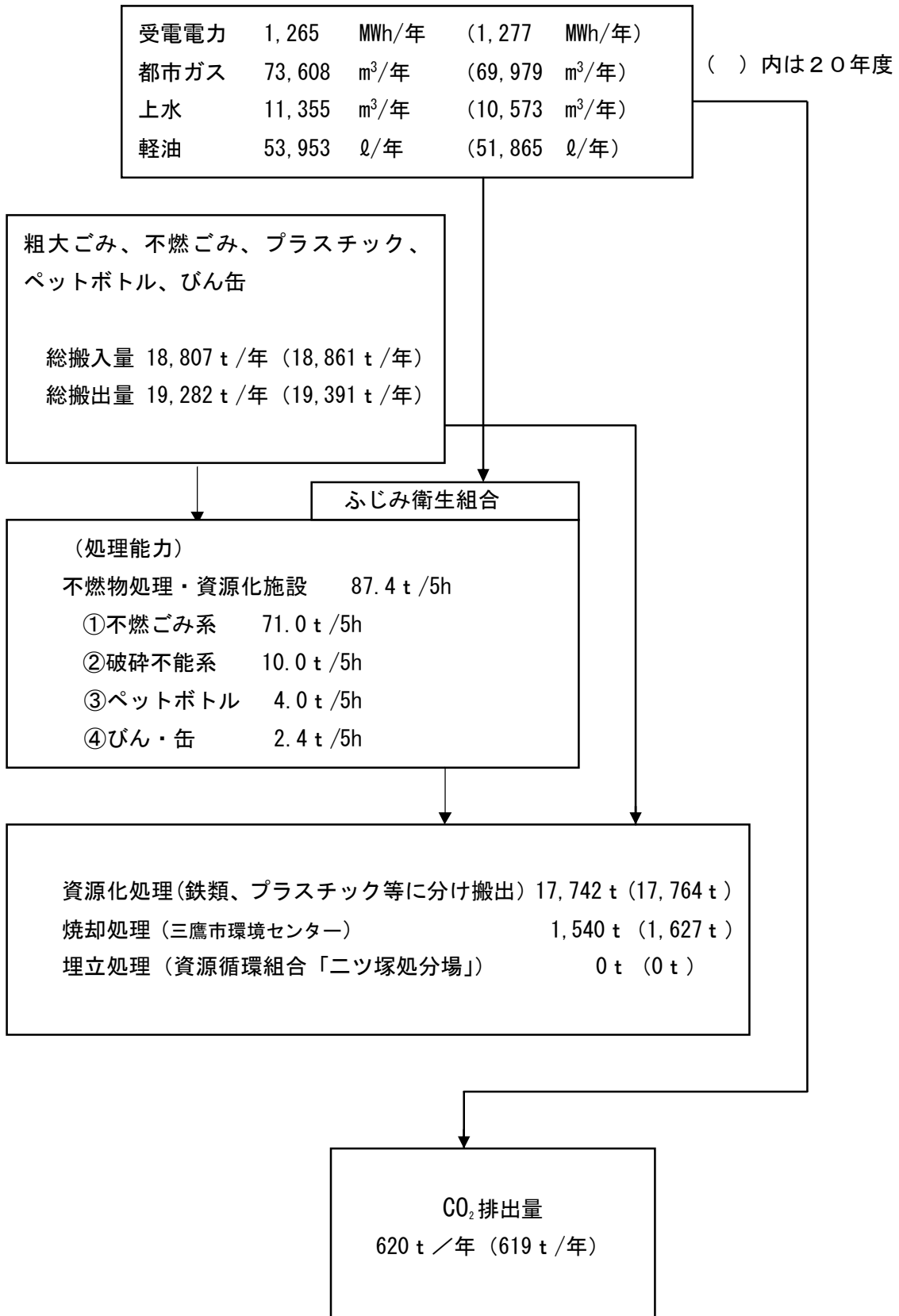
ごみの資源化及び省エネルギー化を一層推進し、社会全体としての温室効果ガスの排出削減を図ります。

### （4）地域との関係

広報紙及びインターネット等を活用し、環境情報の提供に努めるとともに、地域の皆さんに信頼される事業活動を推進します。

## 2 環境負荷

### (1) 平成21年度の物質収支

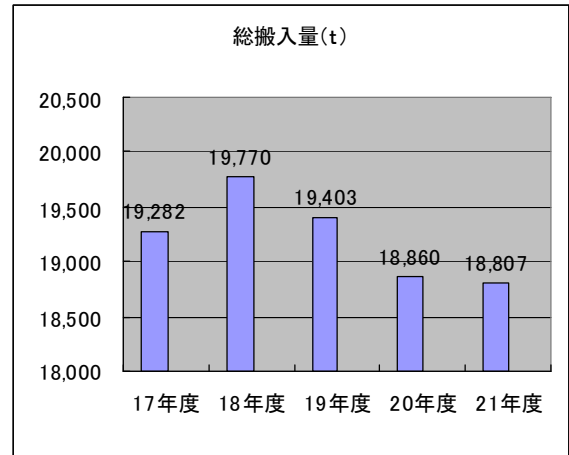


(2) 平成17年度から21年度の推移

総搬入量

平成21年度は市民一人当たり  
 $18,807,000\text{kg}/400,741\text{人} = 46.9\text{kg}$

※ 市民人数は平成22年1月1日現在の  
 三鷹市と調布市の合計

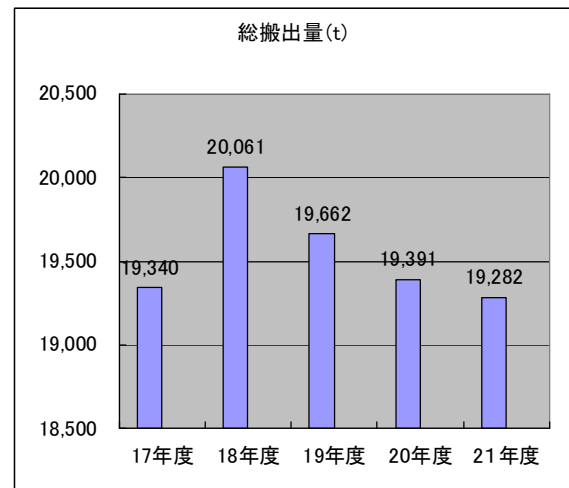


総搬出量

平成21年度は市民一人当たり  
 $19,282,000\text{kg}/400,741\text{人} = 48.1\text{kg}$

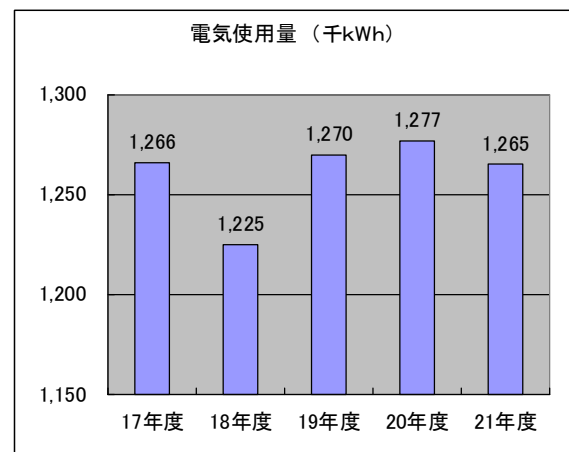
※市民人数は平成22年1月1日現在の  
 三鷹市と調布市の合計

搬入出の差は処理時期の差異等によるもの  
 や圧縮梱包材などが必要なためです。



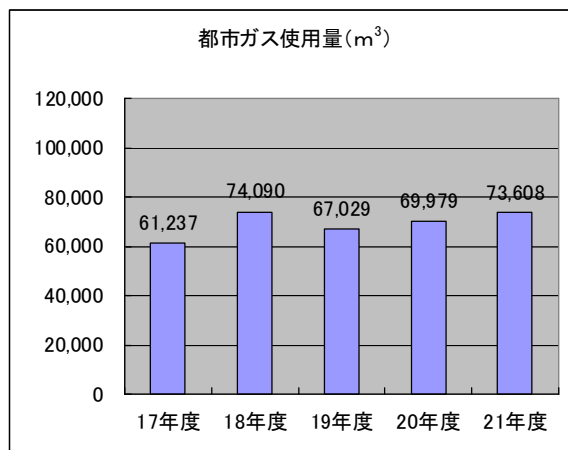
電気使用量の変化

主に破袋、破碎、コンベヤ等の機  
 器類を動かすため使用します。



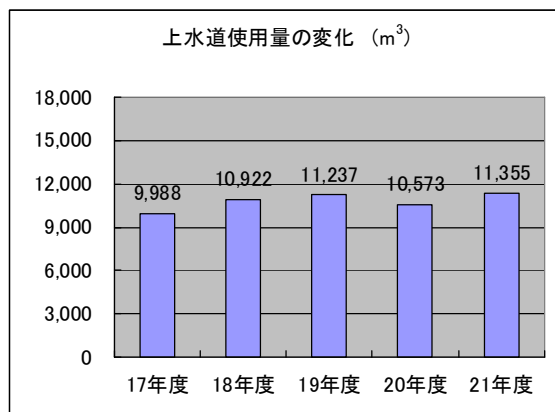
### ガス使用量の変化

主に防爆用の蒸気を作るためのボイラの運転に使用します。



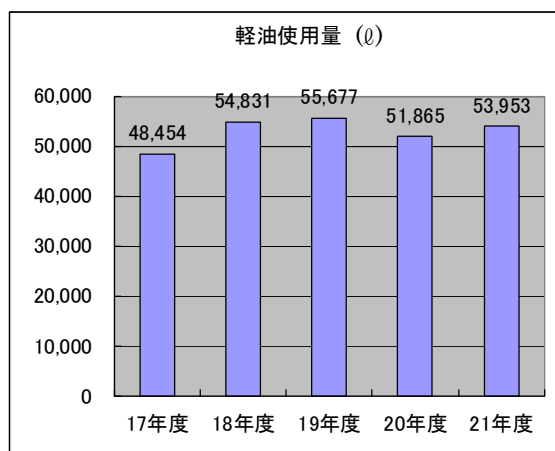
### 上水道使用量の変化

主にボイラ用水等に使用します。



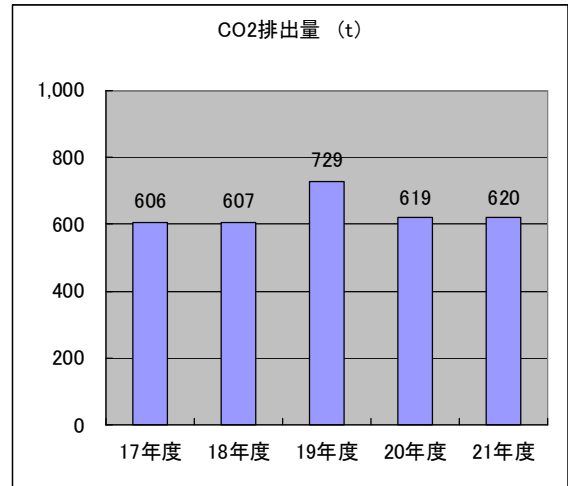
### 軽油使用量の変化

フォークリフトやショベルローダー等の重機(11台)に使用しています。



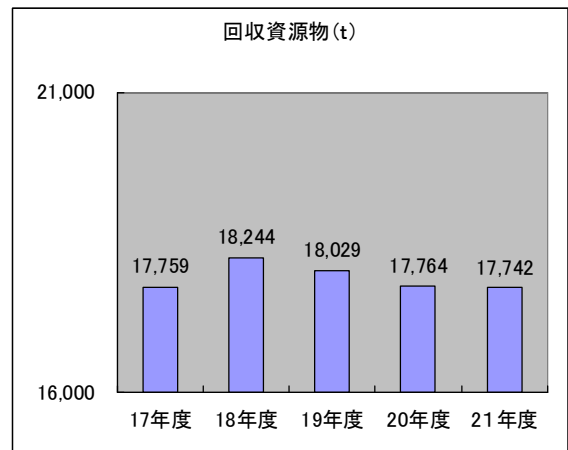
### CO<sub>2</sub>排出量の変化

電気、ガス、軽油等のエネルギー消費による、CO<sub>2</sub>(温室効果ガス)排出量の削減状況



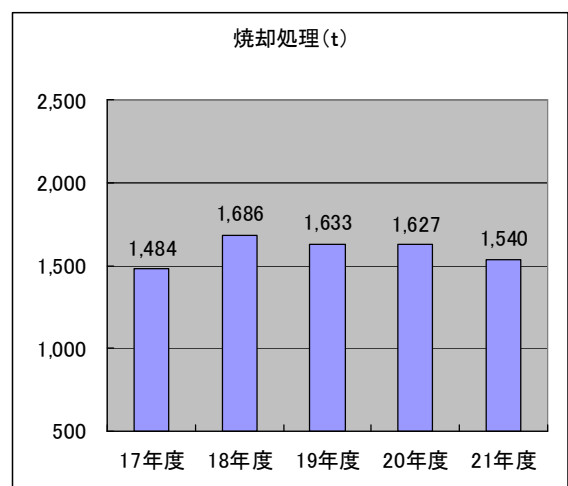
### 回収資源物

鉄類、プラスチック、ペットボトル、ビン、有害物（乾電池、蛍光灯）等の資源物に分け搬出



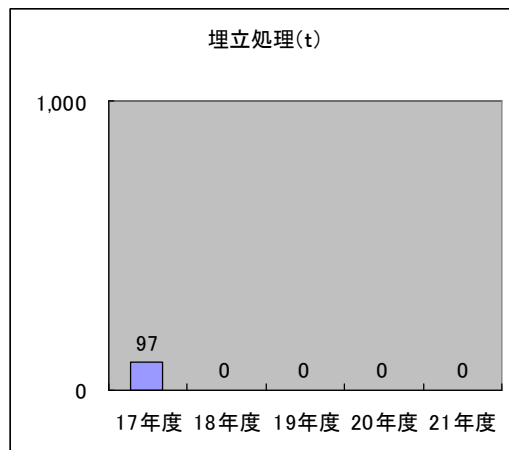
### 焼却処理

ベッド、ソファ、机等から発生する可燃ごみ（木部等）については焼却場で処分



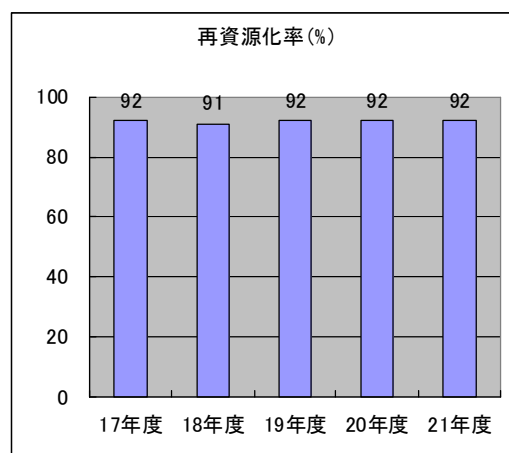
### 埋め立て処理

ガラス、陶磁器、プラスチック片については、二ツ塚処分場（現：東京たま広域資源循環組合）で埋め立て処理していましたが、平成 17 年 6 月から埋め立て場延命のため搬出していませんので埋め立て量はゼロです。



### 再資源化率

(回収資源物量/総搬出量 × 100)  
年間総搬出量のうち、どれだけ再資源物として資源化できたかを示す数値です。



再資源化率（平成 20 年度実績）

$$\frac{\text{回収資源物量 P12 より : 17,742 t}}{\text{総搬出量 P10 より : 19,282 t}} \times 100 = 92.01\% \approx 92\%$$

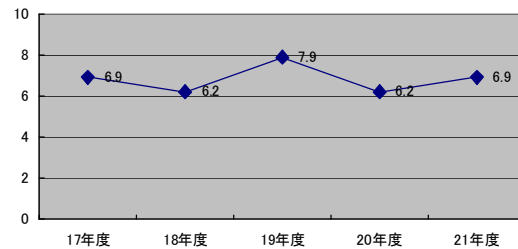
### 3 環境対策

#### 排水

水素イオン濃度 (pH)

下水排除基準 = pH5 を超え pH9 未満に適合しています。

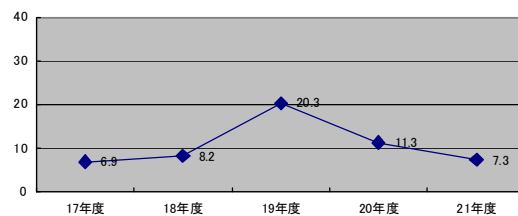
水素イオン濃度(pH)



温度 (°C)

下水排除基準 = 45°C 未満に適合しています。

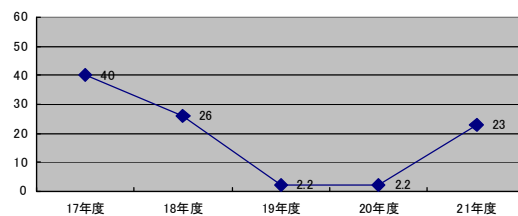
温度(°C)



沃素消費量 (mg/L)

下水排除基準 = 220 mg/L 未満に適合しています。

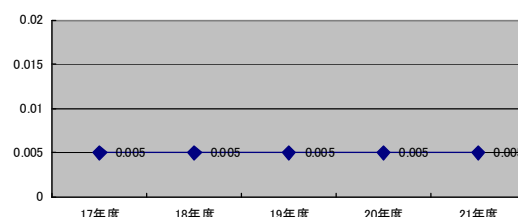
沃素消費量(mg/L)



カドミニウム及びその他化合物

下水排除基準 = 0.1 mg/L 未満に適合しています。

カドミニウム及びその他化合物(mg/L)



その他、シアン化合物、有機燐化合物、鉛及びその化合物等の水質汚濁防止法における有害物質、環境項目についても、平成21年度調査結果は、全て下水排除基準に適合しています。

## 4 再資源化処理

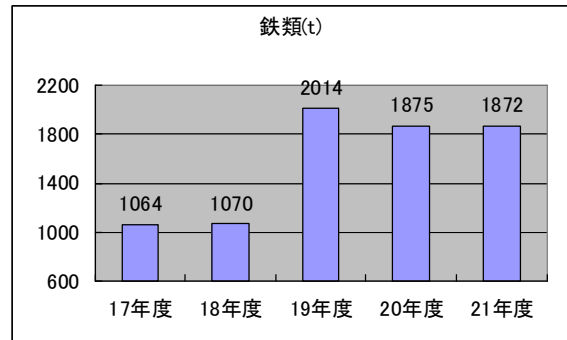
搬入された不燃ごみ、粗大ごみ等の中から手選別、機械選別により資源物を抜き出し、再資源化を図っています。

### (1) 有価物(売払っているもの)

#### 鉄類 (H21 年度分)

手選別、機械選別された鉄類（銅、真鍮などを含む）をプレスし、売却しています。

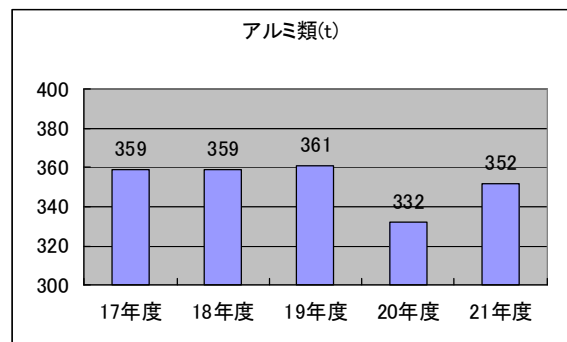
H21 年度 1,872 t



#### アルミ類 (H21 年度分)

手選別、機械選別されたアルミ類をプレスし、売却しています。

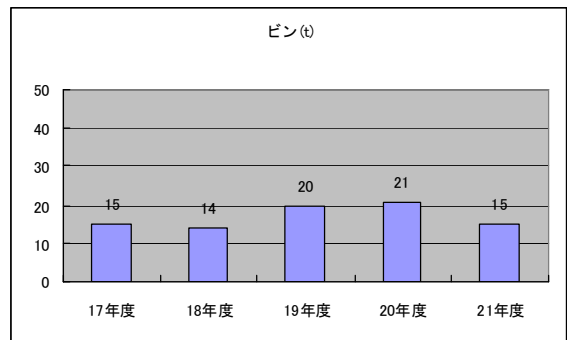
H21 年度 352 t



#### ビン (H21 年度分)

資源回収及び手選別により選別されたビンを売却しています。

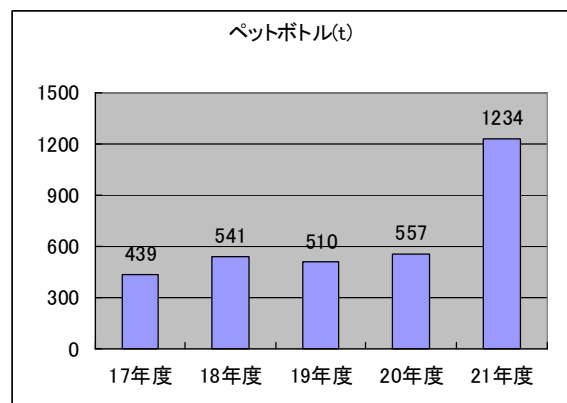
H21 年度 15 t



#### ペットボトル (H21 年度分)

資源回収及び手選別により選別されたペットボトルの一部を売却しています。(さらに、P16で、容器包装リサイクル法適合物で指定法人に引き渡している分があります。14 t 分)

H21 年度 1,234 t





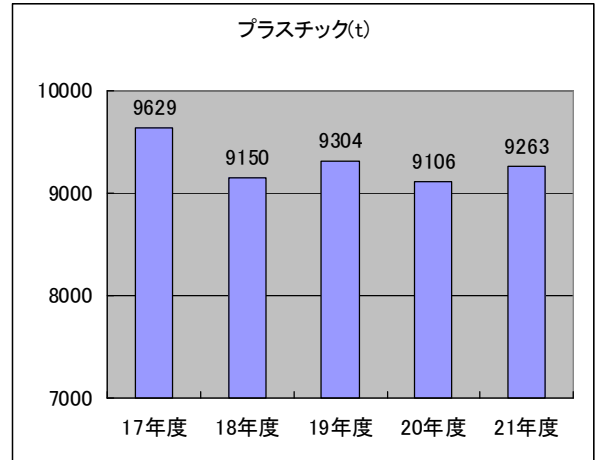
(2) 無償

容器包装リサイクル法（以下、「容リ法」）に基づきリサイクル処理されているもの

プラスチック類（H21 年度分）

容リ法適合物処理し、※指定法人に引渡しリサイクルしています。

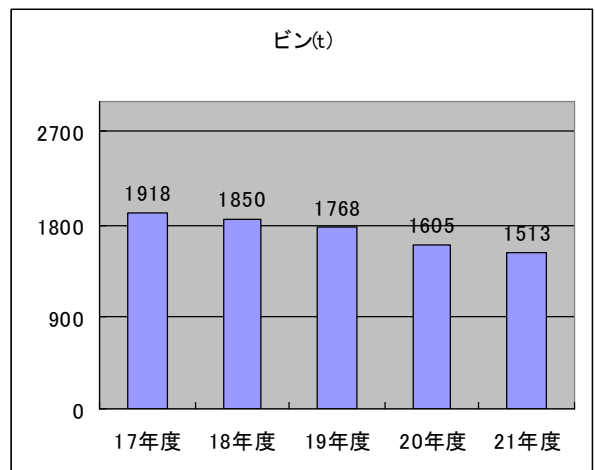
H21 年度 9,293 t



ビン（H21 年度分）

容リ法適合物処理し、※指定法人に引渡しリサイクルしています。

H21 年度 1,513 t

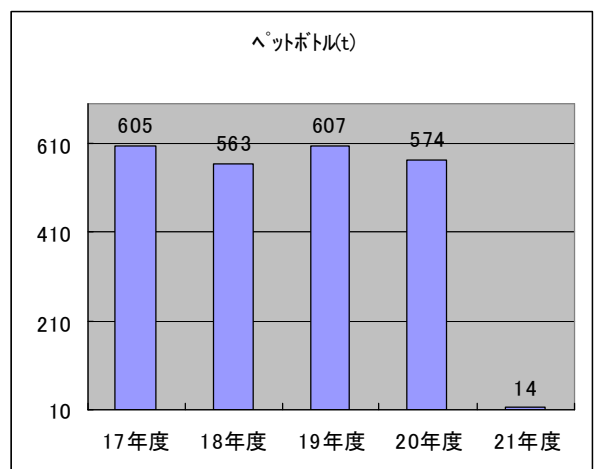


ペットボトル（H21 年度分）

容リ法適合物処理し、※指定法人に引渡しリサイクルしています。

H21 年度 14 t

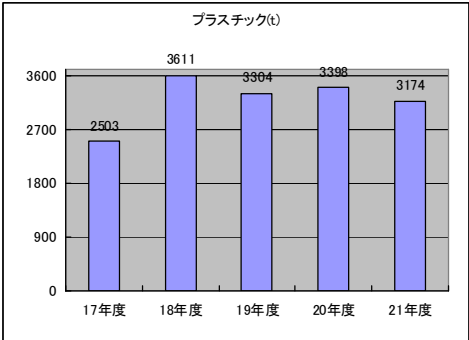
（注）平成 21 年度は、東側建屋建築工事により圧縮梱包ライン休止のため、指定法人への引渡量が少なくなっています。この他に P15 にあるように独自ルートで売却している分 1,234 t があります。



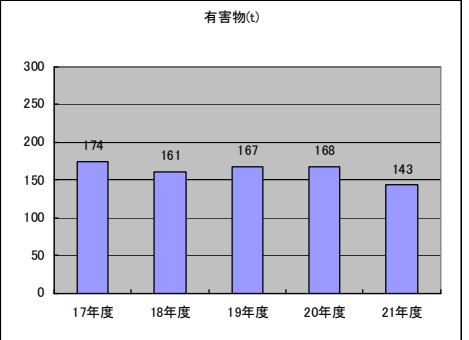
※指定法人：公益財団法人日本容器包装リサイクル協会

(3) 逆有償 代金を支払いリサイクル処理しているもの

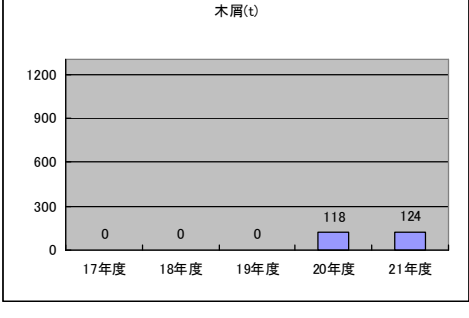
プラスチック (H21 年度分)  
 容り法の不適合物(容器でないもの、汚れたもの等)、熱源利用等のサーマル化原料としてリサイクルしています。  
 H21 年度 3,174 t



有害物 (H21 年度分)  
 乾電池、蛍光管等は、リサイクル処理しています。  
 H21 年度 143 t



木屑 (H21 年度分)  
 粗大ごみ処理等の解体処理工程で発生した木屑を、平成 20 年度からリサイクル処理しています。  
 H21 年度 124 t



## 5 環境負荷を減らす取組

### ○ 地球温暖化防止

#### 投入エネルギーの削減

重機について、空ふかしや構内走行速度を順守し、穏やかな運転を心掛け、軽油消費の削減に努めています。



### ○ 施設内の緑化

#### 施設内の緑化

施設内緑化の一環としてアサガオによる壁面緑化に取り組みました。建物が吸収する熱を和らげる効果と視覚的に和める効果を期待しています。



### ○ 事務室での取組

#### 事務室のエネルギー等の節減

不必要にコピーをとらない、メモなどは裏面を使用するなど、紙の使用量の削減、ミスコピーの削減に努めました。廊下の照明、パソコンの電源は不要時に消すなど節電に取り組んでいます。



## 6 環境活動

### 環境教育、訓練

ふじみ衛生組合では、環境負荷の継続的軽減に関する知識や技術、技能を身に付けるため、環境教育・訓練を実施しています。

#### 1. 環境教育・訓練

- ① 一般教育
- ② 専門教育

#### 2. 緊急事態対応教育・訓練

緊急事態として次の3項目を想定し、年1回、順次、実地訓練などを実施しています。

- ① 火災
- ② 停電
- ③ 設備の故障

#### 3. 講師等

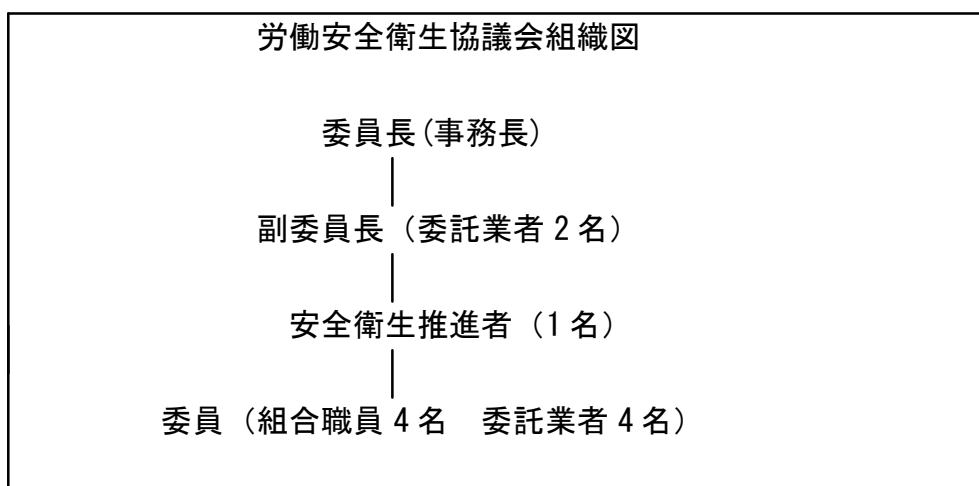
講師は、事務長、リサイクルセンター長などが担当しています。

## 7 労働安全衛生などの取組

### (1) 労働安全衛生協議会

組合では、場内の安全と衛生を確保し維持するために、労働安全衛生協議会を定期的を開催しています。

事務長をはじめ組合職員に加え、委託従業者にも委員をお願いして運営しています。



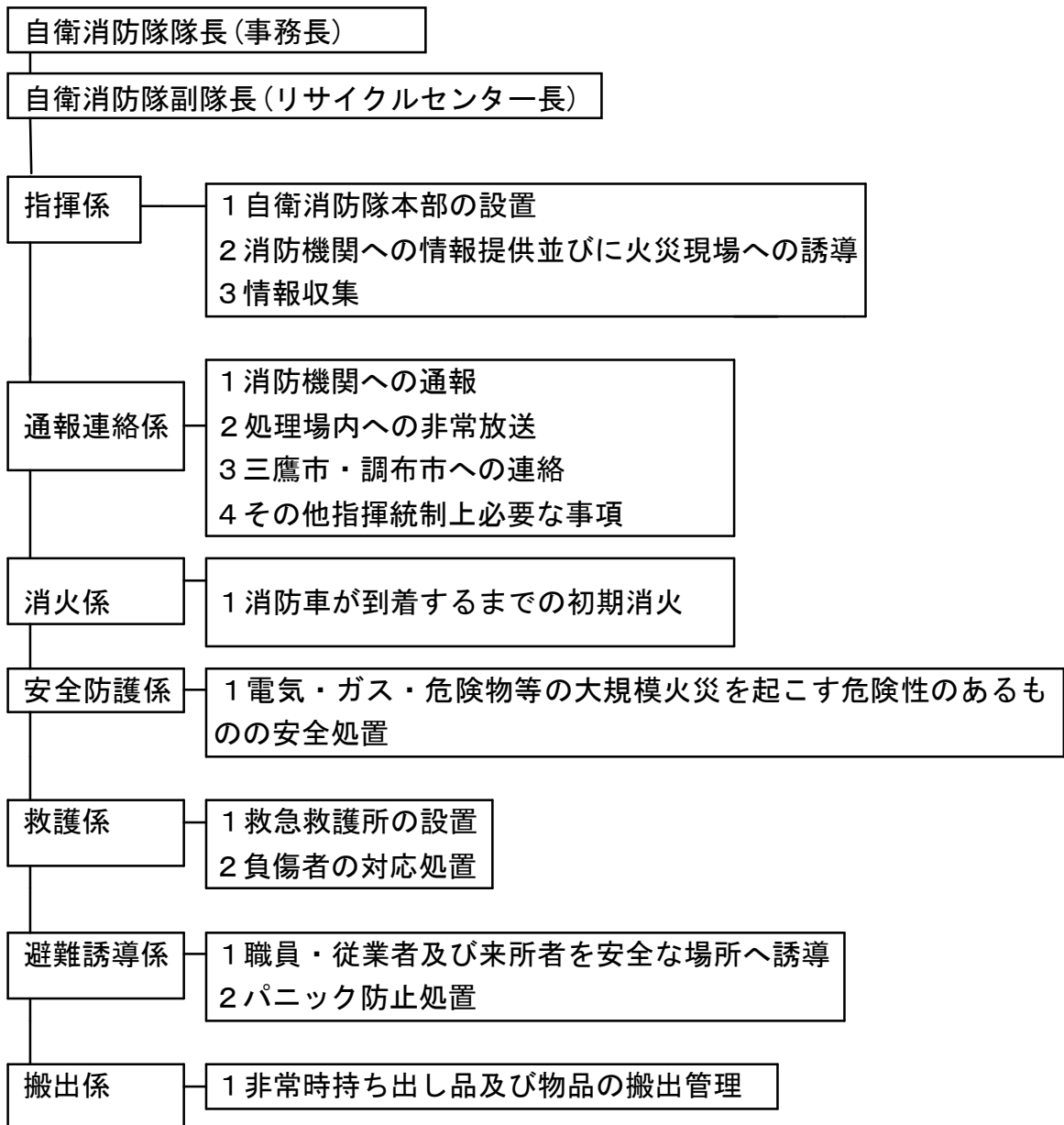
### 開催状況

代表者協議会毎月1回 12回開催。

### 安全対策の状況

年 月 日	主な問題点	改善点
平成21年4月	コンベヤ類の清掃を安全にしたい。	安全スイッチ入り・切の徹底。

(2) 自衛消防隊



### 第3章 コミュニケーション



## 1 環境情報の提供

(1) インターネットにホームページを開設しています。

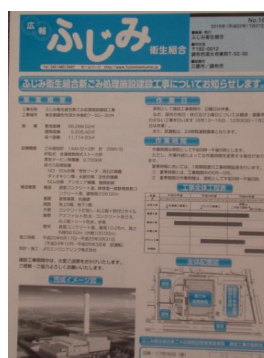
ホームページ	<a href="http://www.fujimieiseikumiai.jp">http://www.fujimieiseikumiai.jp</a>
E-mail	<a href="mailto:fujimi@fujimieiseikumiai.jp">fujimi@fujimieiseikumiai.jp</a>

組合ホームページには、環境情報の他に、ふじみ衛生組合議会の開会情報や新ごみ処理施設整備にかかる事業の概要や今後のスケジュール、市民検討会の開催情報や議事録など、盛り沢山の情報が満載です。



### (2) 広報紙の発行

市民の皆さんにごみに対する一層の関心とご理解をいただくため、組合広報誌の発行を行っています。発行は、原則として、年2回、新聞折込みにより、各戸配布しています。また、両市の公共施設(48箇所)に配布しています。



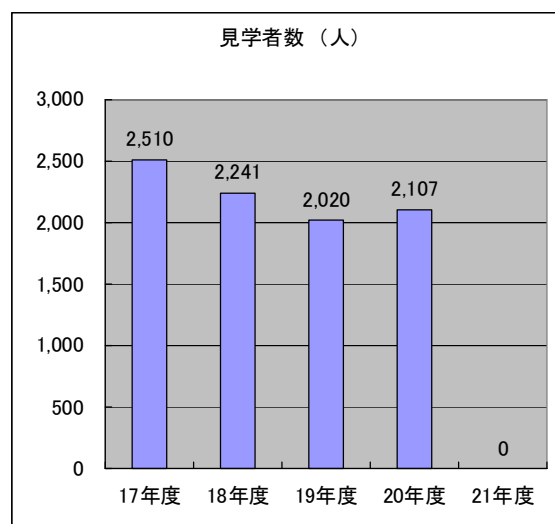
広報紙最新号(平成22年7月27日発行)



## 2 施設の見学

平成 21 年度のリサイクルセンターの見学については、工事中のため、安全上行っておりません。

新ごみ処理施設建設工事が終了し、新しい施設が完成する平成 25 年度から、施設の見学を再開する予定です。



単位：人

	学校関係者	行政関係	一般市民	合計
平成 17 年度	2,206	110	194	2,510
平成 18 年度	2,000	86	155	2,241
平成 19 年度	1,819	107	94	2,020
平成 20 年度	2,023	29	55	2,107
平成 21 年度	0	0	0	0

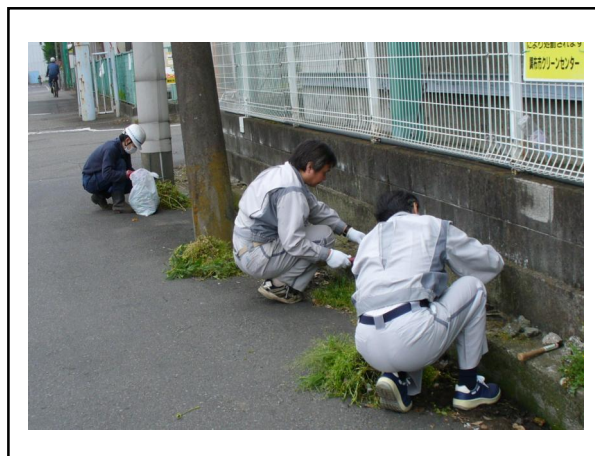
### 3 社会的活動

#### (1) 緑化の取組・場外清掃

植栽や樹木の剪定及び場外清掃等を行い、場内外の美化に努めています。  
また毎月第2と第4月曜日には、施設周辺清掃を行っています。



施設周辺（清掃）



施設周辺（除草）

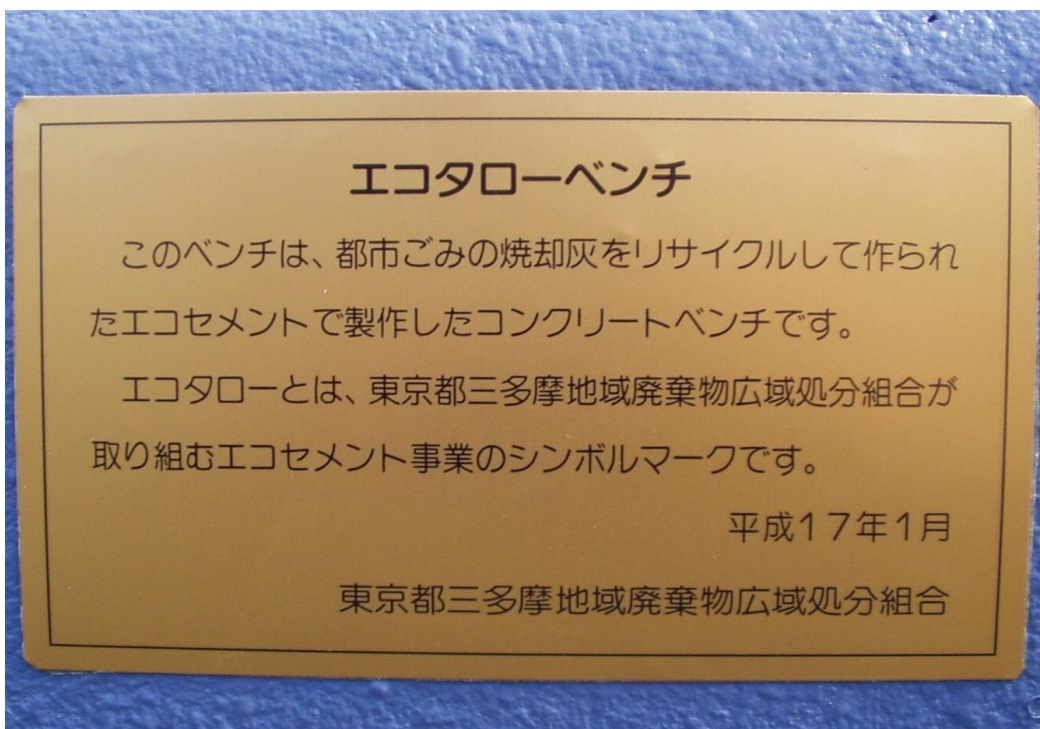


場内 北側

#### 4 エコセメント

場内には資源循環組合より寄贈されたエコセメント（ごみを燃やした後に残る焼却灰等を原料として作られた新しいタイプのセメント）で製作したベンチ2脚が設置されています。

ご来場の際には、是非、腰掛けてその感触をお試し下さい。  
一脚の重量は約 250kg となっています。



## 5 事業のあゆみ

年	出来事
昭和35年	「し尿処理を共同処理」する目的で三鷹市と調布市で一部事務組合を設立
昭和54年	組合規約を全部改正「し尿処理場及びごみ処理場の建設並びに経営に関する事務を共同処理する」とし、ごみ処理する廃棄物は、可燃物を除くとした。
昭和55年	粗大ごみ処理施設（32.5 t / 5 h）竣工
同年	粗大ごみ処理施設（32.5 t / 5 h）供用開始
昭和63年	組合規約を一部改正「し尿処理に関する共同処理を廃止し可燃物を除くごみ」に関する共同処理事務に限定した。
平成6年	不燃物処理資源化施設（81.0 t / 5 h）竣工
平成7年	不燃物処理資源化施設（81.0 t / 5 h）供用開始
同年	プラスチック減容固化装置による、リサイクル処理（RDF化）を実施
平成9年	ビンの砂化処理を開始
平成11年	ビン処理について容器包装リサイクル法に基づく処理を導入
平成12年	廃プラスチック処理について容器包装リサイクル法に基づく処理を導入
平成13年	ペットボトル処理について容器包装リサイクル法に基づく処理を導入
平成14年	プラスチック減容固化装置による、リサイクル処理（RDF化）を廃止
平成15年	ビンの砂化処理を廃止
平成16年	調布市プラスチックの完全分別開始（H16.2）
平成17年	三鷹市プラスチック及びペットボトルの完全分別開始（H17.2） 粗大ごみ処理施設（32.5 t / 5 h）を休止
平成18年	三鷹市と調布市が共同で策定した「新ごみ処理施設整備基本計画」に基づき、組合規約を改正「ごみ処理場の建設及び経営に関する事務を共同処理する」とし、可燃ごみについても処理することとした。ただし、組合が建設する焼却施設の供用が開始されるまでの間、可燃物は除くものとした。
同年	ふじみ衛生組合に新施設建設準備室を設置
同年	「ふじみ新ごみ処理施設整備市民検討会」を設置 市民委員14人
平成19年	粗大ごみ処理施設（32.5 t / 5 h）を廃止
平成20年	新ごみ処理施設環境影響評価調査計画書公示（H20.1）
同年	環境影響評価に係る事業者説明会開催 三鷹市・調布市各2回開催（参加者延べ139人）
同年	新ごみ処理施設整備実施計画（案）の説明会開催 三鷹市・調布市各2回開催（参加者延べ90人）
同年	新ごみ処理施設整備実施計画（案）のパブリックコメントの募集 （応募数両市で23人）

年	出 来 事
平成20年 同年	新ごみ処理施設整備実施計画策定 (H20.3) 「新ごみ処理施設整備・運営事業者選定委員会」を設置 (H20.9) 学識委員5人 行政委員3人 計8人 新ごみ処理施設整備・運営事業実施方針公表 (H20.10)
平成21年	不燃物処理資源化施設東側建屋等建築工事契約締結 (H21.2) 東側建屋建設予定地の土壌汚染説明会開催 (H21.3) 新ごみ処理施設整備・運営事業入札公告 (H21.3) 新ごみ処理施設環境影響評価書(案)公示 (H21.3) 都市計画変更 公告 (H21.3) 環境影響評価書案及び都市計画変更説明会開催 三鷹市・調布市各2回開催(参加者延べ66人) 環境影響評価書案に係る見解書公示 (H21.7) 新ごみ処理施設整備・運営事業に係る落札者決定 (H21.9) 「ふじみ衛生組合地元協議会」を設置 (H21.11) 市民委員22名 行政委員7人 計29人 環境影響評価書公示 (H21.11)
平成22年	新ごみ処理施設整備・運営事業者と基本契約を締結 (H21.11) 新ごみ処理施設建設工事請負契約締結 (H22.2) 新ごみ処理施設建設工事に関する工事協定書締結 (H22.2) 新ごみ処理施設運営業務委託契約締結 (H22.3) 環境影響評価事後調査計画書提出 (H22.3) 東側建屋等建設地の土壌汚染改良工事完了 (H22.3)

\*\*\* 編集後記 \*\*\*

次回の環境報告書は、さらに、充実した内容になるように努めていきたいと思  
います。皆様の忌憚のないご意見をぜひお聞かせください。

# 案内図



## 交通経路

- 三鷹駅(中央線)からは小田急バス仙川行・晃華学園東行 三鷹市役所前下車 徒歩3分
- 調布駅(京王線)からは小田急バス京王バス 吉祥寺行 航研前または三鷹市役所前下車 徒歩3分

本報告書に関するお問い合わせは、下記までお願いします。

名	称	：ふじみ衛生組合
所	在	地：〒182-0012 東京都調布市深大寺東町7-50-30
電	話	：042-482-5497
F	A	X：042-482-5491
発	行	：平成22年11月 (次回発行予定：平成23年11月)
作	成	：ふじみ衛生組合
ふじみ衛生組合	：ホームページ	<a href="http://www.fujimieiseikumiai.jp">http://www.fujimieiseikumiai.jp</a>
	：E-mail	fujimi@fujimieiseikumiai.jp

# みなさまのご意見・ご感想をお聞かせください

「ふじみ衛生組合環境報告書」をお読みいただきありがとうございました。  
まだまだ内容が不十分な点も多いかと思えます。

つきましては、みなさまの貴重なご意見・ご感想を今後の報告書作成の参考にさせていただきます。お手数ですが、本紙をご記入の上、下記までお送りいただきますようお願いいたします。

ふじみ衛生組合 あて

FAX:042-482-5491

1. 本報告書をどちらでお知りになりましたか。

[ ]

2. 本報告書をお読みになって、感想はいかがですか。

(1) わかりやすい (2) 普通 (3) わかりにくい

3. 本報告書の内容について、感想はいかがですか。

(1) 充実している (2) 普通 (3) ものたりない

4. 本報告書の内容について、お気づきの点がありましたらご記入ください。

[ ]

5. 本施設の環境管理活動について、感想はいかがですか。

(1) かなり評価できる (2) 評価できる (3) 普通

(4) あまり評価できない (5) 評価できない

6. 本施設の環境管理活動について、お気づきの点がありましたらご記入ください。

[ ]

ご協力ありがとうございました。